

下鴨少年補導委員会
松ヶ崎支部

発行責任者
支部長 北川 憲一

松ヶ崎少年補導だより

ターニングポイント

京都市立下鴨中学校校長

寺 嶋 丈 雄

人生のターニングポイント、「自分にとってのターニングポイント」は、何時だったのだろうか？この原稿を頼まれたとき、改めて、自分の歩んできた時を思い返し、考えてみました。

一番に思い出すのは、小学校三年生の時に家庭の環境が大きく変わったときのことです。親の商売が行き詰まり、田舎へ引っ込んだとき、それまでの生活が一変し、赤貧と言っていいほどの生活になりました。茶碗一杯の麦飯を家族六人で分け合ったり、水団でお腹をふくらませたりの毎日が続いていました。それに追い打ちをかけるように中学一年生の時に、突然に父親が他界し、ますます生活が苦しくなり、内職を手伝ったり、学校が休みの日には、ゴルフ場でアルバイトをしたりして生活費を稼いでいました。「今に見とれ」この言葉が家族の精神面での支えとなっていました。そして、この環境が、今の自分を築く元になったように思います。「逆境が人を強くする」と言われるが、まさにその通りだと実感しました。また、学習への意欲についてもターニングポイントがあったよう

に思います。小学校四年生の時、算数の時間に文章題を学習していたとき、「一番重要な言葉は何か」という質問で、答えられたのが自分一人で、先生から褒められたことを今でもはっきりと覚えていいます。ほんの些細なことかもしれないが、褒められたことがない自分にとっては大きな自信になったような気がしました。それからは、学習に集中するようになりました。

このことを教師になって思い出し、自分の体験が、少しでも活かさればと、授業ではできるだけ褒めるようにしてきました。それまで授業に入らなかった生徒も、次第に授業に参加するようになり、意欲付けという面では効果がありませんでした。子どもの目線に立ち、接点を増やしていくことが、子どもを理解することに繋がる。褒めることだけでなく、叱ることや一緒に喜んだり遊んだりすること等を通して、子どもとの人間関係作りをしてきたように思います。同窓会に招かれたときに必ず話題になり、子どもたちの心にも響いていたんだなあ、と安堵しています。教師になつてはや、三十年が過

ぎようとしていきます。教師として、いったい何人の生徒の人生に影響を与えてきたのだろうか。「教師の影響力」に最初に気がついたのは、教師になって三年が過ぎた頃でした。体当たりで生徒と向き合っていた。半分強引にワンマン的な学級経営をしていた頃、学級会活動で、学級委員が強引な会議の進め方をし出すようになったのに気が付きました。「生徒は、教師を写す鏡である」先輩教師が言っていた「後ろ姿の教育」の意味が、この時初めてわかったような気がしました。「教師の影響力」の怖さを知るとともに、やりがいと責任を強く感じるようになりました。

このときが私の教師としてのターニングポイントだったように思います。少し時を戻し、教師になる前の自分はどんな人間だったのだろうかと考えると、今のように人前で話をしてるのが信じられないくらい、恥ずかしい。人前を出るとすぐに顔が赤くなり、一言もしゃべれないほどでした。こんな自分を変えたのが、アルバイトでした。店頭に立って、餃子を焼いて販売をするという仕事でした。人前でしゃべる

のが苦手な自分にできるのか非常に不安でしたが、声を出さなければ売れない状態に直面し、意を決して声を出したら、意外と気分が楽になり、自分の殻が脱げたような感じがしました。それからは、声も気楽に出すことができ、人前に出ても赤面することがほとんどなくなりました。自分の殻を脱ぎ捨てることができれば、自分を変えることができると知りました。あの時の経験がなければ教師になつていなかったかもしれません。

人が歩んできた人生の中には、いろいろなターニングポイントがあるのだと思います。その時、こうありたいという願望と強い意志、そして一歩踏み出す勇気が人生を変えるのだと思います。子どもたちには、多くの夢をもって欲しいと思います。それが、人生を変え、エネルギーになるのだと信じています。子どもに夢を！



正田町 S.S. さん

さしのべる 手のぬくもりを どの子にも

グラウンド幻想

松ヶ崎体育振興会副会長

関口 力

松ヶ崎小学校、とりわけグラウンドは小学生ばかりでなく、学区民にとってかけがえのない交流の空間となっております。実際、体育振興会の活動はグラウンドなしには成立しません。誇張した言い方をするなら、グラウンドは学区民の精神的支柱ともいえる存在ではないでしょうか。

そして、あらゆるものに歴史の変遷があるように、このグラウンドにも幾多の歴史が刻み込まれているのです。

平安時代中期の官人である藤原行成は、日記『権記』正暦三年(九九二)六月八日条に次のように書き遺しています。

円明寺を供養せらる。卿相以下会集せざるはなし。(原漢文)

この記事は、円明寺の創建供養が行われた際、大臣以下の多くの人々が参列しての儀式が挙行されたことを伝えるものです。当寺は中納言源保光によって創建された

ことにより、彼を岳父とし、行事にも参列した行成が日記に認めているのです。この創建記事のほかにも、たとえば、当時の口うるさい老政治家として知られる藤原実資の兄嫁(父は保光)の七七日法会も当寺で行われております。これらの事実は、円明寺が平安時代の貴紳にはよく知られた存在であったことを示しているといえます。

さて、円明寺は松崎寺とも記されたように、松ヶ崎に建立された寺院であり、その跡地は現在の松ヶ崎小学校を中心とした地域であったことは、既に発掘調査によっても明らかにされております。従って、時の最大権力者藤原道長もこの地を訪れたかもしれないし、紫式部も当地に立ち、『源氏物語』(夕霧)に松崎を登場させる構想を練ったとも思われます。また和歌に詠みこまれる歌枕の地として、当時の文化人も多く訪れたに違いありません。その中には、文学作品、和歌集の作者なども含まれていたとも考えられます。百人一首の歌人もいたかもしれません。

ただ、史料には残されてはいないので、実際を知る術はありません。しかし、妄想・空想・夢想は個人の自由であり、平安時代に限らず、各時代への思いは限りなく広がっていくでしょう。

日々小学生が走り回り、学区民がソフトボール・グラウンドゴルフに興じ、夏祭り・区民運動会などが賑やかに開催されるなど、グラウンドは様々な現実を見せてくれます。そして、時として幻想といった非現実的なファンタジーも垣間見せてくれることもあるのです。グラウンドに立たれた方は、しばし足を止め、見知らぬ時代に思いを馳せてみてはいかがでしょう。

窓

地域活動へ参加のすすめ

小脇町

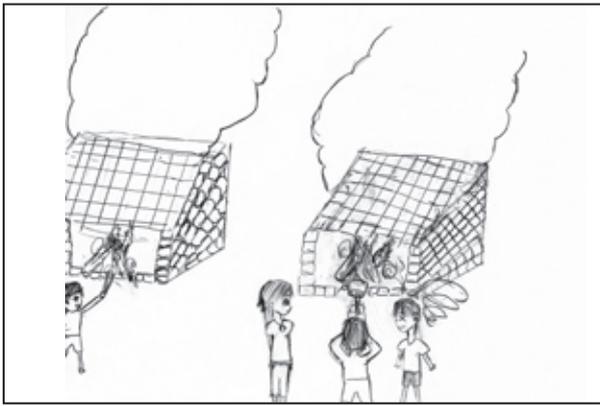
西郡 藤夫

松ヶ崎に引越してきて子供が小学校で野球を始めたのがきっかけで消防分団に入団し、後に少年補導、体育振興会にも誘われ入会しました。当時私は二十年以上運動をしていなかったので中性脂肪が恐ろしく高いのがわかり毎日愛犬の散歩を出町あたりまで行っていました。そんな時に地域活動で知り合った人に週一回の卓球、月二回のバドミントンに誘われ始めました。それまでは運動で汗をかくことがほとんどなかったのですがとても気持がいいものです。今では散歩に行っていた愛犬も亡くなり散歩には行かなくなりましたが、子育ても一段落したこともありバドミントンに凝っていて週二・三回近隣の小学校で汗をかいています。運動を続けているおかげで疲れやすかった体調も良くなってスポーツ、地域の活動と年々忙しく

なってきましたが何故か苦に成らない元気な自分がいます。人の為とか立派なことではなく自分自身の為に動いていると思っております。地域に知り合いも増えていき皆様に大変お世話になり感謝しております。

各種団体、委員を募集していますので皆様も一つでも地域活動に参加して見てください、かならず自分のプラスになると思いますよ。この後も皆様のご協力をお願いします。





「毎年楽しいげんごうすいせん」
 田中 絵梨
 私は今年もげんごうすいせんに参加しました。去年について、子供スタンプもしました。
 やほり、2年続けること、前とほしちかう体験ができました。私は、こぼんをたく係でしたが、自分なうで火をたかしてうちわであおいで火をたきこするということば、こういふ行事がないと、なかなかできないと思います。
 自分なうで、げんごうすいせんをたかして、目もいたくなく、まはんか、けんごうすいせんも、こういふことがあるから、来年もかんぱうこうと思えます。私は、いこうんば、この行事へ、この行事か、とても大好きです。

松ヶ崎小学校 5年2組 田中絵梨

楽しかったげんごうすいせん
 5年 大江志菜
 小学校ではんごうすいせんかありました。キッズスタッフを友達としました。私は、ご飯たきをしました。ご飯をたいている時は、とても暑くて大変でした。たき終わったら、スーパードルすくいやヨーヨーフリをしに行きました。行列かできていました。ヨーヨーをぶくらますのを手伝ったりしました。お昼はカレーを食べました。おいしかったです。おかわりをしました。暑くて大変でした。たけれど、おもしろかったです。

松ヶ崎小学校 5年2組 大江志菜

第二十五回
子供フェスティバルのお知らせ
 本年も十一月三日（文化の日）に実施します。
 多数のご来場をお待ちしています。



平成二十二年
非行防止標語
優秀作品

支部長賞

らくがきは

自分の心 よこすもの

六一二 高木 ゆり

小学校長賞

おもったら はっきりいおう

ごめんなさい

五一二 守 重 綾 華

PTA会長賞

一言で

みんなの心が かわるかも

五一一 村 田 菜 穂

佳作

あいさつの

わをひろげよう 元氣よく

五一一 青 木 由 紀

いつだって 相手の心 大切に

五一二 鈴 木 来 紗

友達を 守る気持ち 大切だ

六一一 西 別 府 幸

あいさつで

非行をなくせ 松ヶ崎

六一二 若 杉 直 人

支部活動 状況報告

前号に引き続き、当支部のその後の活動状況につき、ご報告いたします。

- 1 三月二十日 松ヶ崎少年補導だより第五十号を発刊し、三〇〇部を印刷、市政協力委員さん、隣組長さん方のご協力により、全世帯、関係機関に配布いたしました。
- 2 四月十九日 支部三役会
平成二十二年度当支部の総会の議案、実施日時、年間行事等について協議いたしました。
- 3 五月七日 支部定期総会
平成二十一年度決算、監査報告、事業報告、平成二十二年度予算案、事業計画案について審議し、満場一致にて決定。
- 4 六月二十二日 支部役員会
七月に実施予定の行事の分担、飯盒炊さんの会について、実施日時、参加人数の推定、材料等の調達の分担について協議いたしました。
- 5 七月四日 第三十二回少年を明るく育てる京都大会
円山音楽堂での式典の後、市役所までパレード致しました。
- 6 七月十日 第六十回社会を明るくする運動地域集会
- 7 七月十七日 飯盒炊さんとスーパードール・ヨーヨーすくいの会
松ヶ崎小PTAおやじの会よりゲーム(オセロ等)での参加協力を得ました。また、児童にもキッズ・スタッフとして各コーナーでお手伝い頂きました。
- 8 七月十七日 いじめ、非行防止標語選考会
松ヶ崎小学校の先生方のご協力により、高学年の児童より応募のあった標語三百首位より、優秀作品七首を選びました。その作品は前頁に掲載してありますのでご覧下さい。
- 9 七月十七日 学校運営協議会と松ヶ崎小PTA開催のさし踊り講習会に参加協力致しました。
- 10 八月二日 青色回転灯によるパトロールを行いました。(十九時～学区内一円)
- 11 八月二十八日 体振「夏まつり」に協賛参加
売店のお手伝いをしながら、各自で子供達を見守りました。

保護司会等関係各団体と共催。京都市教育委員会生涯学習部・主席社会教育主事、古田義久先生の「ネット社会の光と影」児童ポルノ問題を含めて」と題する講演を拝聴いたしました。

九月十五日 松ヶ崎少年補導だより第五十一号編集会議
原稿の作成、寄稿原稿の点検、紙面の構成、配置などの作業を行いました。

九月二十五日 松ヶ崎少年補導だより第五十一号編集委員会
文字の校正や誌面のレイアウトにつき、手直しいたしました。

〈青色回転灯パトロール〉
下鴨署管内で偶数月の一日(土・日の場合は翌日)に実施します。

〈古紙回収〉
毎月第四金曜日に行っています。以上ご報告申し上げます。
支部長 北川 憲一



下鴨少年補導委員会松ヶ崎支部組織表 (平成22年・23年)

